

教職員・院生版生協だより

かけはし

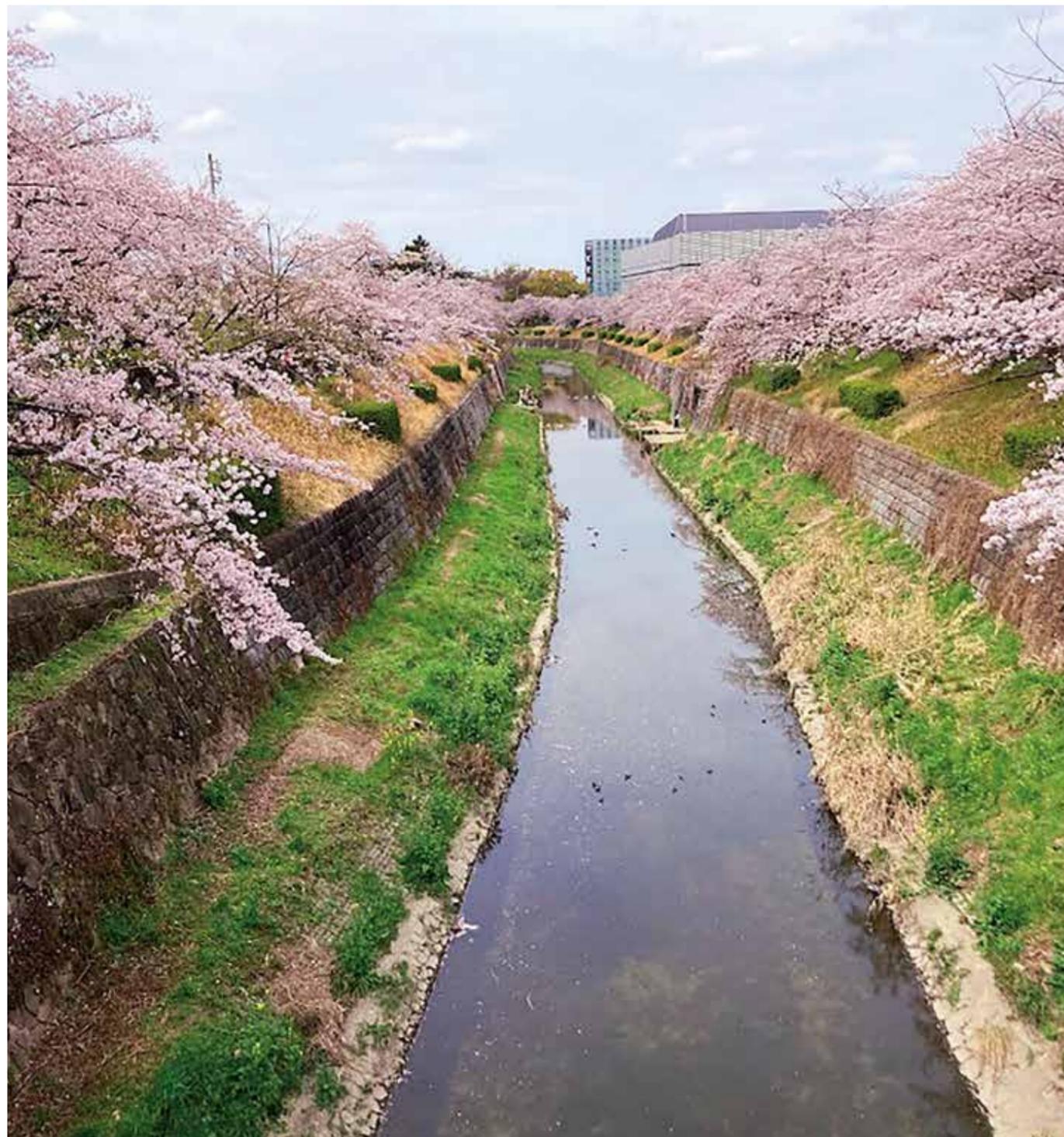
No. 361

2023年3・4月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎学内線 7540 学外線 781-1111



卒業される皆様へ

～急がば回れ～

名大生協教職員委員会 委員長

伊藤耕

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。かけはしの輪に、コメントをいただいたので、少なくとも私も自身が大学を卒業するときに知っていたら良かったと思つていて、卒業される皆様（だけでなくすべての読者の皆様）に贈りたいと思います。今後の皆様の人生で思い出してもらえらる機会があれば幸いです。副題の諺、義務教育の早い段階で習いますね。このことわざは人生のあらゆる場面に、そしてこの記事に内容のほとんどと何らかのかかわりを持っています。

・楽しむことと楽しいこと

楽しいこととは心の底から自然と湧き出てくる感情で、大変だと感じ

・うまくいつている人のやり方を見る

しかしただ真似をすればよいというものではなく、自分なりに理解して自分なりの肉付けをすることにこそ、価値があると思います。残念ながらただのモノマネに価値はなく、そのまねをした人が間違っていたり心変わりすることもあります。

・信頼性の原則 (PLINCI

PLESLEY・ダリオ著 斎藤聖美 訳日経BP 日本経済新聞出版 New 版 2019/3/21)

誰かに意見を求めたり参考にしたるとき、その人がその分野でどれだけ成功しているかを基準にするとういと思います。これは多くの分野で活用できると思います。※引用文献には「その分野で何回成功しているか」となっています。そしてその基準は厳しい方が良いです。

ことを楽しいと思おうとする「楽しむ」とは私の中では違います。しかし楽しんでいたことがいつの間にか楽しいことになっていることもあるかもしれません。得られる成果は楽しいことの方が断然大きいと思います。

・大学生活までで学んだことの延長が最善とは限らない

私もそうだったので、多くの方が高校生の時に数学ができるかどうかなどの理由で人生の選択肢を半分に絞り、さらにまだ人生の3割も生きていない段階で選んだ進学先をもとに人生の生業を決めることが多いのではないのでしょうか。しかしそれが最善であるとは限りません。いやそれどころかベターかどうかですら怪しいと私は思います。だから専門外の世界に「楽しい」があるかもしれませぬ。そして「楽しい」は私の考える最善です。そんなチャンスに出会うために一見すると自身の専門分野とは関係のない世界にも首を

・言葉

普段何気なく使っている言葉の意味を考えてみるといろいろな発見があります。

研鑽、勉強、鍛錬、努力、頑張る…

力を入れて踏ん張ること。長続きさせることが困難。私はあまり好きではありません。だって楽しそうじゃないから。

楽をする…手を抜くことという意味

合いで使われることが多い気がするが、「楽」という漢字には、楽しいという意味もあります。実際には上に挙げた、研鑽・勉強・鍛錬などと同じことをしていても、それを「楽している」方が、たん成果は大きくなると思います。

仕事…仕える・事と書きますね。誰

に仕えるのか自分自身と自分にとって大切な人・物のために仕える方が人生は楽しいものになると思いますが、とはいえ、Aさんに仕えていたとしても、同時に自分自身の目的が

突っ込んでみてください。もしかしたらあなたの宝物が見つかるかもしれません。

・「〇〇しなければいけない」

より「〇〇したい」の方が楽しい

私たちは毎日を生きたるためについつい「〇〇しなければいけない」なつてつていることが多いと思ひます。でも、「〇〇したい」人生の方がきつと人生は楽しいと思ひます。

・断るな

仕事の限らず、可能な限り、誘いや依頼を断らない方がよいと思ひつています。そこから芋づるのように新しい誘いや依頼は拡がっていき自身の可能性を拡げてくれることがあります。能力が足りない、気後れする、(現在の)仕事と関係がないなどという理由で断る事はおつたないない。断る理由は、他に優先することがある、体力の限界、楽しくない、ただだと私は思ひます。私が今こう

あるのならば、自分自身に仕えているとも言えます。あなたは誰に(何に)仕えていますか?と考へてみて下さい。また、仕事とは誰かに何かの価値を提供することでお金を稼ぐかどうかは基準ではないと思ひます。よい仕事をすればお金はあとからきつとつて来ます。

お勧めの本(過去に勧められていたらごめんさい)

・ビジネスエリートになるための

教養としての投資(奥野一成著 ダイヤモンド社 2020/5/28)

ここには書ききれなかった、卒業生の皆様に送るメッセージがこの本には書いてあります。

・ソクラテスの弁明・クリトン

(講談社学術文庫 プラトン著三 嶋輝夫 翻訳 田中 享英 翻訳 1998/2/10)

多くの人が気付いていない「知っていること以外は知らない」(知っているつもりで知っていると思つていることが多くな

して記事を書いているのも生協教職員委員になること、かけはしに原稿を書くことを断らなかつたからです。

・他人と違うやり方

何をする場合でも、他人と違うやり方でやつた方が容易であることが多いです。なぜなら、みんなと同じやり方では差がつきません。そのやり方で差をつけるためには頑張るかありません。しかし、それでは疲弊するだけで、そのため長続きすることが難しいことが多いと思ひます。

・それは事実か意見か。またその事実正しいか

情報に溺れないようにすることの方が情報を見つめるよりも困難な今の時代では、まるで事実のように語られる意見、まるで確実であるかのように報じられる(または掲載される)事実と類似した何かに注意が必要だと思ひます。

いでしようか)、国家について考へる事と、現にある国家について考へることは違う。死についてなど、どのように生きるかという、人生というピラミッドの土台となる思想が書かれています。※次号に続きがあります

・勇気

これが最後です。「勇気」とは誰かが振り絞ればよいものなのでしょうか。私は勇気がないのでこの言葉を軽々しく使えませぬ。

では、勇気の後盾となるものとは何でしょうか。私たちのあらゆる行動は周りの影響を受けています。だから誰かが勇気を出せる雰囲気を作つてあげる事は不可欠です。そして自分のクビを切る覚悟。

だれもが少しの覚悟で勇気を出せるそういう社会の方がきつと楽しいと思ひます。

それでは皆さん良い人生を!

眼鏡のかけかえ

宮地朝子

ここのところ、コンタクトレンズの調子が悪い。年相応の見え方の変化をカバーしてくる遠近両用レンズなのだけれど、花粉の季節も始まったせいも、曇りも激しくすぐ充血してとにかく痛い。眼鏡で過ごすことが多くなっている。ただ、手持ちの眼鏡は近視用だ。手元の小さな字を読む都度、眼鏡を頭へ乗っける。情けないけどしかたがない。ついでに言えば、この年になると太陽の光もやたらとまぶしい。サングラスも若い頃よりずっとかける機会が増えた。年を取って、眼鏡のかけかえを意識することが多くなった。私たちはものを見るとき、環境や自身の条件に即して、より明確に見えるように、「眼鏡」の類をかけかえる。例えばごく自然なことだ。老化や花粉・日光対策から話を

始めたが、より遠くのものを見ようとすれば望遠鏡を使うし、極小のものを見たいなら拡大鏡とか顕微鏡などの専用器具に頼る。望遠鏡とか顕微鏡に話が及べば、暗視カメラとか、スーパーカーミオカンデなど、人間界の環境や人間の認知能力の制約を乗り越えてものを映し出す高感度高性能の装置なども思い至る。どれも、見て知るための道具である。目的や見たいものに依じて使い分けているということ、は、ごくわかりやすい普通のことだ。

つまらない回り道をしたのは、人文学・社会科学でも、同様に、見たいものを見る道具・装置の開発と、目的に応じた精密化に取り組んでいるということをちよっと言ってみたかったからである。当然のことと同意してくれる方もい

るかもしれないが、文系の道具は目に見えないし、手に取れるかたちで流通もしていない。ただ、例えば人文学の知見は、人間の営為・所産について見て知るための「眼鏡」の類に相当する。適材適所で自然にかけかえられれば、複雑な人間社会もよりよく見て知ることが出来る道具だと思ふ。

そもそも文理を問わず、学問分野は「何を見たいか」によって分かれている。見たいものによって適した方法は違いうから、当然、分野によって方法も道具立ても異なる。知りたものの知りたい面、未知の特質がよりよく見える、そのための道具を研ぎ澄ます努力が積み重ねられている点で、文理も分野の別もない。どの学問分野の営みも達成も、尊い。

文学部・人文学研究科のパンフレットよろしく語るなら人文学では、あらゆる人間の営みが観察対象となっている。人間のやることなすことは、多様で、複雑で、豊かで、面白い。自然界も、多様で、複雑で、豊かで、面白いが、その自然に

ついて、摂理や制御活用を追究する学問も、結局のところ、人間の好奇心や、人間が生きていく上での必要性、利便性の向上、持続可能性の追求に動機づけられている。

人文学はそうした人間の営為と所産を関心事として眺めてきたから、その中で立ち現れてきた諸分野も編み出されてきた枠組みや諸理論も、その一つ一つがバラエティに富んだ人間界用の眼鏡の役割をなす。磨かれてきた数々の眼鏡はどれも持っていて損はない。人間のやることなすことを面白がりながら、持続可能な将来を構築していくなら必須アイテムともいえる。そういうものを教養というのかもしれない。けれど教養と呼んでしまうと大事なところは却って伝わらないかもしれない。それで眼鏡と言ってみた。雑文の戯言である。

私自身の専門は、日本語学、なかでも文法史という分野である。例えば、限定を表す助詞「だけ」は、名詞「丈」を出自とする。では名詞から助詞への変化は言語一般にあること

か。その種の変化の動因や条件はどのようなものか。同じ限定の助詞でも「ばかり」や否定述語が必須の「しか」とどう違うか等々について、史的变化の過程を精密に観察することを通して考えている。機能語の動態の中に、日本語の構造や特質を見出そうとしている。

人類の明日の暮らしにすぐ役立つ課題では、決してない。ただ、言語は、人間の営為と所産の現象面としてにかく面白い。多様な観点から考察できる現象である。この点は、どのような対象についてもいえることだと思ふが、自らの専門を一例に考えてみる。

言語は、人間のコミュニケーションの主要なツールの一つであるというだけでなく、思考の道具であり、文化や社会、人間の世界認識の反映する現象でもある。脳機能の一端であり、音声や文字によって現象する。また母語である場合も学習言語である場合もある。使用者の位相(年齢・所属 etc.)や、運用場面(媒体・文体 etc.)で違いがあり、方言

差も示す。歴史的な文献に現れる用例から何を見出すか。その用例に何が現れているのか。文法史という分野でそのあたりを紐解いていくには、眼鏡の選択と組み合わせがものをいう。それで、「眼鏡」の選択や組み合わせ、かけかえについて、じつと考えることが多い。

言語学分野でも、個々の言語の伝統的・構造的な研究実践から、たぐさんの眼鏡が磨かれてきた。言語一般に適用可能な枠組みも整備されて、言語学Basicセットみたいなものも整ってきている。同様に、それぞれの学問分野でも、専門領域の分化・特化が行われ、オーダーメイドの眼鏡が研ぎ澄まされてきた。多様な観点の組み合わせが工夫され、隣接関連領域とのハイブリッド眼鏡も開発されてきた。見たい気持ちを整える努力があらゆる学問分野でなされてきた結果、眼鏡のラインナップは

だかからこそ、見たいものを見るときには観点・枠組み、すなわち眼鏡の自覚的な選択と

使い分けが必要である。合わせ技を決めるにも、区別して組み合わせてはじめて効果的な「一本」となる。眼鏡のかけかえという例えが気に入っているのは、この勘所を正確に言い当てているように思ふからである。自覚なくかけた合わない眼鏡で見たものは、見えた気がしても、その説明が不明瞭になりやすい。説明を聞いてもピンとこないという

場合、無意識であれ、観点が混ざっている、途中で変わっているといったパターンも多い。言語変化の研究でも、文法変化の話かと思いきや、社会構造や文化の変化の話に帰着していたり、「人々」の意識の変化の話になっていたりすることがよくある。何の眼鏡をかけているのかなと思ひながら聞くと、絡まった理路が見えることもある。これも眼鏡の自覚的な使い分けとかけかえの効能だろう。もちろん、眼鏡同士の関係もまた独立に追究されるべき課題である。その問題の所在を見出すにも眼鏡

に対する意識は不可欠だ。大学のようなところでは、

一つの専門を学び修め究める中で、眼鏡の選択とかけかえとができる。人文学諸分野の学びの中で手に入る眼鏡は、人間の営為と所産のあれこれを見る装置である。人間社会で生きていく中で、最適の眼鏡を選び、時と場合に依じて軽やかにかけかえられる。人文知の社会実装が実現するならそんなイメージだろうか。

とにもかくにも、いろんな眼鏡を手に入れて多様な見え方を味わい、相互に理解しあえるなら、何より、人として楽しい。眼鏡の使い方や見せ方を楽しくもいい。学びは人生を楽しくするといってしまう。そんなことを再確認すれば、研究者は眼鏡の研磨にいそむことができる。ありがたい生業と感謝して努めよう。

動物写真集

今回はめいこの写真多めですがご容赦ください



黒い塊で分かりにくいがお日様も布団も大好きだっためいこ



めいこが大好きだったおもちゃ



いつも通りのレモン



めいこが亡くなった翌日に慰めに来てくれたパト（勘違い）



今年もララちゃん



ネコネコアタック (14)

カラー写真・過去記事はこちら

(https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html)



めいこのこと②

359号に同じ副題を掲載したばかりだが、2022年12月18日にめいこは8歳7か月で亡くなった。短い猫生だったが、我が家のほかのネコよりもネコらしいネコ生を楽しんで駆け抜けていったように思う。11月末に私がコロナに感染し、その症状が治まるまで待っていたかのように体調が悪くなり、様子がおかしくなった1週間後にはなくなってしまった。この原稿を書いている1月7日にはすでに良い思い出になりつつあるが、現実世界に残った一番の思い出は、体調が悪くなりあまりご飯を食べてくれなくなっためいこに何とかして食べてもらおうと思って買い込んだウェットフードや食欲をそそる通称「旨いメシ」の味を最後に我が家に残ったレモン（寝たきりになったときはまさか最後に残るとは思わなかった）が旨いメシの味を覚えてそればかりを要求するようになったことだ。（レモンについての詳細はかけはし310号～315号をご覧ください）

きっかけ

二匹ともすでに亡くなってしまった猫だが、みいちゃんにもめいこにも当時の私の気持ちを一変させるきっかけがあった。以前にも書いたことがあるかもしれないがそこは目をつぶってほしい。

みいちゃんは妻のところにいた猫だが、当時の私はネコが苦手だった。しかしある日妻から「あなたの車の音がするとみいちゃんは玄関に走っていくよ」と言われたことがある。それを聞いたときネコに対する気持ちが一変した。

めいこがうちに来た当時、寝たきりだったレモンが立ち上がった直後のレモンのことが心配で、あまりめいこのことを少し疎ましく思っていた。そんなある日、外で猫が鳴いていた時妻が「ねえ、あの外で鳴いてるねこってめいこじゃない？」と言われて確認しに行ってみると、玄関の扉の前でめいこが座って「ねえ！ここだよ。忘れてない？」と言わんばかりに鳴いていた。玄関が空いた隙に外に飛び出していき、300gしかなかっためいこの存在に気が付かずに玄関の扉を閉めてしまっていたようだ。その時、「めいこは、ここが自分の居場所だと思ってるんだな」と感じたとき、不思議とそれまでとは変わってめいこの存在がどんどん大きなものへと始まり始めていった。

こたえ

みいちゃんは亡くなる前1週間ほど私の手のひらを枕に寝ていた。めいこは亡くなる2日前の夜、風呂上がりにストレッチをする私の足下という、めいこが大好きな場所に来てくれた。今思えばそれがみいちゃんとめいこの「答え」だったのかもしれない。私たちと一緒に居られてよい生涯だったよ。」という※めいこは元気な時からストレッチをしているとどこからともなくやってきて定位置に座ることが多かった。

言葉より多くを語るもの

先ほどのネコの話からも感じるのだが、言葉そのものより多くを語るものがあると思う。ネコは人間の言葉を話さないが、我が家のネコたちはみな私たちのことが大好きだということも、レモンは私より妻のことがより好きなこともわかる。同じように人間同士のコミュニケーションでも、言葉そのものよりもその熱量（言葉の長さ、語気、Aさんに尋ねたにもかかわらずいっしょにいたBさんが答えてくれる。など）の方が多くを物語っていることが多いように感じる。

初めての胃カメラは中学生

思春期の頃貧血症状があり(思春期女子にはよくある)、鉄剤をしばらく処方されていた。その治療の中で、胃カメラの検査があった。通院先の内科医院は胃カメラ検査ができる当時では珍しい個人病院だった。前日夜から絶飲食だったが、当日朝に鼻血を出してしまい、それが胃に入ってしまった胃炎と間違えられた。そんな思い出がある。

40代を機に人間ドック

40歳を過ぎて、職場の健康診断を受けるよりも、人間ドックで年一回隅々まで検査してもらった方が良いのではと考えるようになった。人間ドックでは胃がんの検査としてバリウム検査か胃カメラ検査の2択がある。バリウムは造影剤である。胃の中で発泡し胃の表面の陰影をX線で撮影するものである。胃の上部も下部もくまなく見ため台に横たわり、仰向けやうつ伏せをしながら頭を上や下になるように台が傾く。ゲップをすると発泡造影剤がしばむので撮影しづらくなるのでバリウムのお代わりが出るとか。検査後は速やかに体外に排出する必要がある。時間が経つと腸内で固まってしまう排出しにくくなる。おそろしや。

それなら、経験のある胃カメラの方が良い。直接カメラを入れるからバリウムを飲まなくてよい。隈なく見てくれる。重症化する前に見つけてもらった方が手術リスクも下がる。その場で検体を採取して簡易検査もしてくれる。

ピロリ菌感染・萎縮性胃炎・逆流性食道炎

さて受けてみたら、ビンゴである。ピロリ菌によると思われる萎縮性胃炎が見つかった。胃内部を特殊な染色液を付ける検査でピロリ菌がいることが明らかになった。ピロリ菌は幼少時に保菌する親からもらってしまうとか、殺菌されていない生水を飲むなどで感染すると考えられている。胃がんの原因でもある。鳥飼も知らない間にどこからもらってしまったようだ。近所の内科で除菌の治療を受けた。胃薬と抗生物質を一週間飲み続けるもの。その後4週間をおいて除菌できたか検査をする。同位体炭素¹³Cの入った尿素の検査薬を飲む。ピロリ菌がいると尿素が二酸化炭素とアンモニアに分解される。呼吸を採取し、二酸化炭素中に¹³Cがあるか測定する。¹³Cは通常人体には存在しないし、ピロリ菌がない胃の中で尿素が分解されることもないので、これでわかる。

この後、ピロリ菌が除菌されたことで、胃液が増えて逆流性食道炎が起きる。多少の胸やけがあり、しばらく胃薬を飲むことになった。

バレット食道

ピロリ菌の除菌はできたものの、萎縮性胃炎の跡はそのままである。萎縮性胃炎が悪化していないか確認のため、年一回の検査は続いている。新型コロナの影響で、のどの麻酔方法が変わってとてもしんどいものになった。口内に麻酔ゼリーを入れ、喉の奥に3分間溜める必要がある。リクライニングシートで上を向きながら、飲まないようにしゃべらないようにじっと待つ。コロナ前は、口からのどの奥にスプレー麻酔をかけてもらった。これが今は衛生上(通常)できない(検査中に追加で麻酔が必要な時は使う)。

元々胃カメラ検査は、前日21時以降の食事は禁止である。水だけは、検査2時間前までなら一応飲める。そして、検査の前に胃の中の泡を消すための水薬を最初に飲む。これがおいしくない。100~150cc程度だが、とても飲みづらい。そして胃カメラはのどの麻酔がかかっているとはいえ、異物をぐいぐい突っ込まれて反射的に飲み込んで楽になりたいくなる、が飲めない(麻酔がかかっているし)。つばも飲めない。ただ口から垂れ流すだけ。気持ち悪くて涙も出る。胃の下部・十二指腸の近くまでカメラでつかれる。空気を送り込んで胃を膨らませて表面を伸ばしくまなく見る。ゲップは禁止。

逆流性食道炎からバレット食道という症状が、昨年ドックで診断された。酷いと食道がんの元になる。今年受けた胃カメラ検査では、鳥飼はそのレベルまで広がっていない(壁面90度程度で1cm未満)とのこと。これをSSBEという。日本人でバレット食道のない人は数割しかいない。しかしほとんどはSSBEとのこと。ネットの情報でバレット食道を調べると食道がんの元、と出て恐れる人は多いだろうが、SSBEは深刻になる必要はないらしい。

サービス旺盛！一見さんにもやさしいパト

なごねこに参加した当初、私はパトのことをお世辞にも愛嬌のある子だとは思っていなかった。桜並木のしらたまやキキといったあざといまで甘えてくる子らとは対照に、餌やりに行っても倉庫の下から姿を見せることさえしない。呼んでも顔すら出さず、覗き込むと逃げて行ってしまおうという様程であった。この子はそういう子なのだろう、関わり合いはそれほど望んでいないのかもしれないと思いつつ一時は餌を食べたのを見届けて早急に次の餌やり場へと移動するようになっていた。



いつだったか、サークルのメンバーとの話に熱が入りパトの住処である倉庫の前に座っているよりも長く滞在することがあった。するとおもむろに倉庫の隙間から顔を出して、こっちを伺っているパトに気づいた。そのことに気づいていないフリをしながら話を続けていると、ゆっくりとパトは正面から近づき、私の脚にその身体を擦り付けてきた。聞けば以前から待っていればパトは出てきて甘えてきてくれるらしく、私はそれまでもっと辛抱強く待たなかったことを後悔させられた。



今ではすっかり人にも慣れ、待たずとも出てきて愛嬌を振り撒いてくれるようになったパト。先日際に際してはフリーペーパーの掲載のためにインタビューに来た初顔の方々にも写真を撮ることを許していた。サービスとして寝転がったりしているポーズも披露していたのには驚いた。少しでもパトの信頼を勝ち取ることができたのではないかと、思うと冬の寒い夜でも心が少し温まるものである。

詳細は、なごねこ HP・なごねこ Twitter をご覧ください。

なごねこ HP:<http://meidaineko.web.fc2.com/>

なごねこ Twitter:<http://twitter.com/meidaineko>

興味のある方は meidaineko@yahoo.co.jp までご連絡ください。

カラー写真・過去記事はこちら (https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html)



ランニングノート(82)

カラー写真・過去記事はこちら

(https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html)



今回は昨年 10 月 1 日 (土) に開催された第 1 回岡崎サタデーナイトリレーマラソンについて書きたいと思います。まだ暑かったので涼しい時間帯に走れる事もあり岡崎在住の人が声掛けしてくれ私は走るだけでしたが「名大 HeForShe」というチーム名で 7 名で参加しました。(HeForShe については下記 URL をご参照ください <https://heforshe.provost.nagoya-u.ac.jp/>)

今回は野球場を発着とした岡崎中央総合公園内の 1 周 2km のコースを全員で 21 周走る「イケイケ部門」にエントリーしました。私は 2 周目と 9 周目と 15 周目を走りました。野球場の外野の外の道路上りのある走りごたえのある道で、また夜の公園内から見下ろす岡崎市内の夜景がとても綺麗でした。当日は、日頃の練習のため足に不調があった女性もいましたが、サポーターを巻いて全員で走りきりました。キッチンカーも数台来ていて、参加者は 1 食分チケットがもらえたので、メンバーが走っている時に応援の合間に食べたりしました。終了後は花火も上がりコロナ禍で味わえなかったお祭りのような賑やかさが楽しかったです。リレーで 42km のフルマラソンに相当する距離を 3 時間 45 分で走り切りフィニッシュタオルをもらうのが目標でしたが結果は 3 時間 1 分と余裕で目標を達成しました。次は 3 時間切りをしようと盛り上がりました。以下は記録証と今回走ったメンバーと一緒に撮ったものです。



山崎高幸 (ISEE)



生協レポート (3) 温玉

カラー写真・過去記事はこちら

(https://www.nucoop.jp/coop/coop_399.html)



久しぶりの生協レポートは食堂からです。そして主役は鮭丼でも豚からラーメンでもなく「温玉」です。温玉に限らず卵はいろいろな料理をまろやかにしてくれる魔法の調味料だと思います。サッポロ一番などの袋ラーメンも、溶き卵→スープ→麺の順でいれてかき混ぜるとおいしさそのおいしさは 30% 増しになります。そんな生協食堂の名脇役の温玉を今回はいろいろなメニューに添加してみました。

① 温玉+鮭丼



鮭丼だけよりも格段にうまいと思う。ネックは写真のように小鉢を一つつけようものなら値段が 700 円近くになってしまうことだ。

② 温玉+豚からラーメン



冒頭で紹介したサッポロ一番同様、麺に卵が絡み、辛味も口当たりもまろやかになります。

③ 温玉+ライス+ポーク焼肉

まずはごはんに温玉を載せ、ポーク焼肉のタレをかけて、卵かけご飯として食べた。半分程度食べた後でポーク焼肉を投入して食べた。器が小さすぎたこと以外はなかなか美味しかった。



用しないようにする薬が開発できるようになります。今は、遺伝子の特定をするための地道な実験をやっています。

○アメリカで今ポスドクをされていますが、英語の壁はどう克服されたのですか

英語の壁はありましたよ。博士を取るまでの間に、まず英語の論文をたくさん読んで、それから英語で論文を書かないといけないし、英語で発表する必要もあります。そこが最初の壁ですが、英語の口頭発表は1ヶ月もあればできるし、どんな質問が来るか・それにどう答えるか、質疑応答も充分考える時間があります。そこが最初の慣れの時間です。

さて博士号を取りました。世界のどこに行っても博士の価値は変わりません、世界共通です。国内で研究を続けようとしたとき、長時間労働は避けられないという問題にぶつかりました。指導教員から「寝る間も惜しんで働くのが大学教員だ」と聞いたり。でも海外なら色々選べるかもしれない。英語をある程度克服したら、外国に行けばいいと考えられるようになりました。

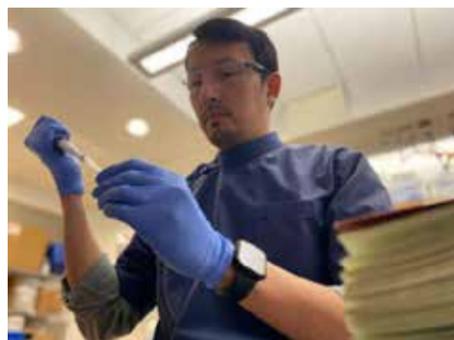
実際のところ、学振の助成金(海外特別研究員)はTOEFLで79点以上、またはTOEICで730点以上、または英検準1級以上でないともらえないのですが、私はTOEFLが76点、英検は準2級までなので貰えてません。その基準には達していませんが、アメリカでポスドクができるぐらいの英語はできます。論文発表の時のような練習時間が生活英語ではできないから、最初は大変でしたが、今(4年目)は生活に支障ない程度に。周りの人の雑談はちょっと分からないけど。

○学生さんにポスドクをおすすめしますか？

ポスドクをおすすめするかどうかと言えば・・・身分と収入については、厳しいと言えます。私のポスドクの契約期間は1年毎の更新制です。年収は5万ドルですが、1ドル＝140円なら約700万円。日本では30歳代で700万円だと悪くないですが(※日本の国立大学助教の平均年収は約600万円)、アメリカではトラック運転手の年収が7万7千ドル(1千万円超)。物価のことを考えても、決して高くはないですね。でもポスドクだと学生の指導はありませんので、自分の研究だけができます。研究を進め、次へのステップ(助教授などの定職)のためのトレーニング期間として耐えています。

ただ、それを打ち消して余りあるほど、外国のポスドク生活は楽しいです。それは新しい生活・価値観を知る楽しみにあふれているから。日本の中にとどまっていると、常識がある程度揃っていつまらないと思うことがあります。その点、アメリカは世界中から研究者が集まっているので毎日が刺激的です。色々な先生にも出会えます。フレンドリーに家に招待されたり泊まらせてもらったり、他の先生とのコネクションも、推薦状ももらえたり。視野がググッと広がります。

英語ができれば、世界を相手に就活ができます。研究を頑張りたい人、言い訳を探してないで早く海外に行きなさい(海外に行くことが全てではありませんが、私はそれを推したい)。



あの業界って実際どうなの？

お仕事発見伝

第8回 @さいぼう(かど たけひろ)さんに「ポスドクの業界」をお聞きしました。

たけひろさんは獣医師免許をお持ちで、現在アメリカにて微生物学分野で研究するポスドク(博士研究員。博士号を有し大学や研究機関において任期付きで研究活動をする非正規雇用スタッフのこと。Postdoctoral Fellowの略)さんです。ポスドク歴4年目だそうです。

○最初に獣医学を志した理由は何ですか？

大学に進学する際に実家を出たかったから、と言うのが主な理由です(笑)。特に獣医を目指していた訳ではありません。獣医を目指せる大学ってあまり数がないので良い理由でした。

○その後微生物の研究に進まれましたが、そもそも獣医学で微生物って繋がりがよく分からないのですが...

獣医学の中に公衆衛生学という分野があります。この中で微生物を扱っています。人間の食する家畜や魚介類が食中毒を引き起こす恐れがあるため、これら食肉や魚介類の衛生を守るという目的があります。

ちなみに獣医学で獣医師になる人の5割は動物病院などの臨床医、3割は食肉検査などを行う公務員になるようです。

○獣医師をお持ちですが、微生物の研究者になられた理由は何ですか

獣医師として臨床に出るより、実験生活の方が楽しいと思ったからです。実験をやっていたら規程の6年が終わってしまって(獣医学は6年制)、もう少し続けたくて博士課程に進学しました。獣医学には修士課程はないので、それしか選択肢がなかったです。

○微生物の研究についてお聞きします。どんな研究をされていますか

結核菌の研究をしています。日本では現在生後5ヶ月で必ずBCG予防接種をしますね。結核の予防になります。それだけ優先度の高い危険な病気だということです。世界的には、1年間の死者数(2021年)が第2位の病気です(1.6million。1位COVID-19が3.6million、3位HIVで0.65million、4位マラリアで0.6million)。特に発展途上国では結核はまだ怖い病気です。

結核は一度感染すると、肺の中で肉腫というものを作り潜みます。ここにいると免疫機能が見つけれないのです。やがて免疫が弱ると肉腫から出てきて全身に広がります。よく映画などで結核になると吐血するという表現をしますね。あれは肺の血管を破って全身に広がる前触れなのです。かなり重症です。日本では抗生物質を投与して治療できます。半年から1年くらいかかるそうですが(18ヶ月というレポートもあります)。

私が研究しているのは、結核菌が増殖する際の細胞膜合成機構について、遺伝子操作で特定しようというものです。細胞が分裂するとき、まず細胞膜が伸びて体積が増えますね。それからくびれができて2つに分裂します。結核菌は体積が増える際先端部が伸びるという性質があります。膜の合成をする為の物質が先端部に集まる仕組みがあるはず。この遺伝子が特定できると、今度はこの遺伝子が作



また、名古屋に来てからは寺院が多いので「御朱印帳」集めにもまっています。今年は、大河ドラマで家康が注目されているので、家康に関わる神社を参拝したいと考えています。

■読者の皆さんへひとこと

コロナ感染症対策をしながら、学生の皆さんの「学び」や「キャリア形成」のお役に立てるよう関わっていきます。そして、少しでも皆さんの学生生活が充実出来るようにサポートさせていただきます。よろしくお願いします。



○南部プラザ(2F)
大学内線：7549 外線：052-781-1112
※営業時間については生協ホームページにてご確認ください。
<https://www.nucoop.jp/>

生協職員紹介 第33回

■自己紹介
三重短期大学卒業後、岐阜大学生協、日本福祉大学生協、三重短期大学生協、三重大学生協と勤務をし、21年6月に名古屋大学生協の南部プラザ店に着任いたしました。主に、旅行サービスや学生さんのキャリア形成にかかわる仕事をしてきました。

■どんな仕事を？

主に、公務員講座と英語試験運営を担当しています。公務員講座では、「公務員」を目指してがんばっている受講生に対して、公務員についての情報発信・個別面談や個別進路相談をしています。受講生と向き合い、悩みに寄り添いながら、受講生自らが自分の進路に向き合えるようなサポートをしています。また、1年生の英語試験運営（TOEFL-ITP・Criterion試験）、秋の3年生のTOEFL-ITP試験の運営を任されています。

■趣味・休日の過ごし方

気候のいいときは、ウォーキング・ハイキングに行っています。秋は、今話題の織田信長ゆかりの地の岐阜城がある金華山や、東三河の本宮山にも登ってきました。

名大グッズ紹介 第33回

豊田講堂
3Dレーザークリスタル
価格2,043円（税込）



名大のシンボリックな存在である、豊田講堂。この内部を精緻にレーザーで掘ったクリスタルの置物です。卒業の記念にもおすすめです。

かけはしの輪

前号の感想

★猫の写真がかわいいです。
【匿名】
（編）ありがとうございます。猫様は何をしていても可愛いですよね。
★動物写真集の猫ちゃんが可愛いです。
【匿名】
（編）ありがとうございます。これからも皆様に喜んでいただけるような写真を掲載しますのでかけはしを今後ともよろしく願います。
★ネコネコアタックのレモンちゃん可愛くて癒されました。
【アップルパイ】
（編）彼はネコの中でも特にかわいいです。親ばかかもしれません。★カップヌードルが好きなので、ブラジルも含めて世界の味をいくつか楽しみたいです。【ヘブンズドアー】
（編）素晴らしい出会いがあります！
★ネコちゃん写真がかわいいかったです！【ネコサウルス】
（編）ペンネームが素敵です！！
★コロナ体験の記事が参考になりました。【匿名】
（編）ありがとうございます。どこかのページがどこかの読者の役に立て

生協への意見・通信

れば、編集部としては何よりです。
★猫かわいかったです。犬の写真をもっと載せてもらえると嬉しいです。
【吉良吉野】
（編）今号はワンちゃんの写真も掲載しましたが、これからは犬の写真も掲載していきたいと思っています。
★クイズ目的で読んだのですが、内容にのめり込んでしまいました。
【趣味はピラ配り】
（編）そう言っていただけで嬉しいです。今後も読者の皆様にのめり込んでいただけるような紙面を作りたいと思います。
★今回のネコネコアタックもとってもかわいくてほっこりしました。カラー写真ももちろんチェックしました。【目より上のハチワレ】
（編）ハチワレさんもネコの写真を送ってください！！
★私の飼っている猫の写真も載せてください。【匿名】
（編）ぜひ投稿してください。写真は kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jpまで。
★卒業生に向けた言葉など？
【アップルパイ】
（編）そのアイデアはありませんでした。ありがとうございます。今年度は私が原稿を書きましたが、来年度以降も卒業生に向けた記事は続けたいと思いますので、良かったら卒業

編集部より

読者の皆様からの「かけはし」への感想ならびに生協にたいするご意見沢山いただきありがとうございます。
後もウェブかけはしをご覧ください。
★時節柄くれぐれもご自愛下さい。
【ヘブンズドアー】
（編）ヘブンズドアーさんもお自愛ください。
★生協のセールやクーポンとかのインフォメーションがほしいです。
【ネコサウルス】
（編）イベントやセールなどがある際にはお知らせするようにします。教職員の方向けのメールマガジンでも情報発信していきますので、ぜひご登録をお願いします。
https://www.nucoop.jp/news_2/news_detail_381.html
★詰め将棋(息子が創れるので、創ってもらったら幾つか送るかも知れません)【匿名】
（編）お待ちしております。ありがとうございます。
★購買のホットスナックを常時置いて欲しいです【趣味はピラ配り】
（編）ご利用ありがとうございます。できたての手作り弁当・丼が好評です。たくさん利用いただいております。お昼時間まではお弁当の販売にホット仕器を使っています。そのため、ホットスナックはその後販売しています。

すべてを目を通させていただきます、最大限この「かけはしの輪」に掲載させていただきます。次号以降の制作ならびに生協運営の参考とさせていただきますので、今後ともぜひよろしく願います。
ご愛顧いただいておりますクイズの応募方法ですが、巻末のクイズのページ左上に付いているQRコードからご応募をお願いいたします。パソコンからのアクセスの場合は「かけはし クイズ回答」のキーワードで検索していただけますとクイズ応募フォームのページに行くことができます。
ご応募の際、「かけはし」の感想、生協へのご意見など、なんでも結構です。お書きいただければと思っています。
大学院生の方から良くクイズの回答や意見を送っていただきありがとうございます。卒業してしまってもかけはしの「はし」が無くなってしまふのは寂しいなと思っています。そこで、卒業後もWebかけはしを見て意見を送っていただいたり、何か投稿記事を書いて送ってもらえるとかかけはし編集者としても、いち職員としても嬉しく思います。かけはしが本場の意味での「かけはし」となっていくことを期待して。

